



新羽中だより

令和2年9月24日(木)

No.6 9月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

【HP】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nippa/> 【メール】 12-nippa@edu.city.yokohama.jp

コロナ禍の気づき ～残暑の日々に～

副校長 佐藤 恵子

夏休みが明け、一か月が過ぎました。例年以上の残暑の中、「おかしいなあ、エアコン設定20度なのに教室涼しくなりませんねえ。」「たいへんです。教室のWBGT、朝から警戒になってます。」「今日の体育は走るのやめた方がいいですかねえ。」こんな会話で始まる職員室でした。教室では換気のため窓を開けてエアコンを使用するので、グラウンドからの熱風にエアコンはすっかり負けていました。おまけにマスクでさらに体感温度が上がり、「先生なんとかしてください!」と生徒たちから悲痛な声が聞こえてきました。厳しい暑さと感染予防の活動制限の中、教員もあの手この手で学習活動を工夫し、大人も子どもも知恵を出し合って乗り切った一か月でした。

WBGT 計を片手に校舎内を回ると、あちらこちらで厳しい環境に負けずに一生懸命学習に取り組む皆さんの姿が見られました。滴る汗を拭きながら先生の声を一言も聞き逃すまいと集中する鋭いまなざし、一人の発言に皆で耳を傾け「なるほど～」とうなずく教室の一体感、サウナのような体育館でもマット上には美しい倒立フォーム、マスクをして声は控えめだけれど真剣に奏でる歌、グループの話し合い活動を通して学びを深める道徳。皆さんの素直でひたむきな姿に幾度となく励まされ元気をもらいました。そして、皆さん一人ひとりの成長はこのような豊かな心の交流と学び合いに支えられていることを強く感じました。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、どの世界でも「オンライン化」が急速に進歩しました。教育においても学校の通信環境の整備が前倒しで始まっています。将来、生徒一人にPC 端末1台の環境のもと、WEB 資料のやりとり、思考の可視化、意見の共有が簡単にでき、自分の学習成果を蓄積したり、人とのコミュニケーションに活用したりできるようになります。また、この先どんな非常事態が来ても子どもたちの学びを止めないための学習ツールとして活用します。校種を問わずどの学校でも学習活動の様相が少なからず変わっていきそうです。大人も子どもも新しいものを積極的に採り入れ柔軟な発想を持つことが求められています。学習形態にバリエーションが生まれ、さまざまな個人のニーズに応えられることはたいへん素晴らしいことです。それと同時に、皆さんが普段見せる感性を研ぎ澄ませて先生の話に集中する姿や、友達の意見に心底共感する瞬間も大事にしていかなければと感じます。変わっていくものと変わらないものの両方の良さをバランスよく賢く生かせる人でありたいと思いながら、遠くない未来の学びの在り方について考えた残暑の日々でした。

様々な取組から

学級活動にボッチャを取り入れて

学年担当 梅本・永井

コロナ禍の中、1年生は入学してから授業でのグループワーク、クラスや学年が1ヶ所に集まることを控えてきました。しかし、何か工夫してできないかと考え、クラスの親睦を深めるために、東京パラリンピックの種目でもあるボッチャを行うことにしました。クラス別で行うとはいえ、人

がたくさん集まるので、密にならないように、接触しないようにかなりの感染対策を考えました。意外とルールが難しく生徒も混乱する場面が多々見られましたが、徐々に生徒もルールを理解していき、楽しそうな笑顔を見られる場面ができました。クラスレクが終わったあとも、生徒から「クラスの人と仲良くなれた」「またやりたい」という声を聞くことができました。新しい生活様式でもクラスを通じて親睦を深めることができたらと思います



ハマ弁デーを実施しました

9月11日（金）本校では、昼食の選択制（家庭からのお弁当、ハマ弁、業者弁当）の充実に向けて、生徒の皆さんにハマ弁の良さを知ってもらう機会として、希望者を対象とした試食会を行いました。メニューはポークカレー、しょうが風味スープ、ツナサラダ、パインのシロップ漬けです。



生徒のみなさんのハマ弁デーの感想

1年男子

- ・今日の生姜のスープがおいしかったです。生姜の風味があってよかったです。生姜についての豆知識も教えてくれてありがとうございます。
- ・カレーの味はおいしかったけれど冷たいのが残念でした。ご飯が温かくてよかった。

1年女子

- ・お米が温かくておいしかったです。スープのおかげで体が温まりました。カレーの具が大きくて良かったです。

2年女子

- ・今回初めてハマ弁を食べたいのですが、結構おいしかったです。クラスの中では、様々な意見が出ていましたが、私は栄養バランスが考えられ、私たちが好きそうなおかずがあってとても良いものだと思います。今後、今回のようにハマ弁を食べる機会があったらまた食べてみたいです。
- ・パイナップルがとても甘くておいしかったです。栄養バランスが考えられていて良かったです。

2年男子

- ・栄養バランスがよく、一汁三菜の形がしっかりとれていて偏食気味な僕でも食べる手が止まらないくらい、おいしいなと思いました。僕は基本的に野菜を食べることが苦手ですが、ツナときゅうりが入っていて、気にせず食べられました。また、汁物にも野菜が入っていて、食べたくないなと思いましたが、スープのだしが染みていたので野菜嫌いな僕でも食べられたので良かったです。
- ・ご飯が温かくてよかった。
- ・スープの生姜の味がおいしく、ニンジンの彩がきれいで見ただけによかった。

3年女子

- 全体の量が多くて苦しかった。
- スープが温かくておいしかった。

3年男子

- いつものお弁当より温かくてよかった。
- カレーをもう少し温かくしてほしい。
- 栄養面や彩りなどたくさん工夫して作ってくださっているのだと思いました。
- 初めてハマ弁を食べましたが、思っていたよりもおいしかった。満腹になった。
- 生姜風味のスープがおいしかった。
- 昼放送でも言っていたように、生姜のスープを飲んで本当に体の奥から温くなるような感覚がして有意義な昼食をとることができました。

生徒会役員の皆さんより

(ホームページ掲載用のため生徒氏名はイニシャルにしています)

生徒会・委員会活動は7月からスタートしました。学校行事の取りやめや縮小、新しい生活様式での生活などから多くの制限がある中、今できることを考え積極的に活動しています。生徒会役員の皆さんにそれぞれの思いを綴ってもらいました。

会長 N.K3-1)

「生徒会活動」というのは、より良い学校をつくるために生徒が行う活動です。私たち本部の活動だけでなく、それに参加することや委員会活動等もそうです。つまり、新羽中生全員が関わっているものです。そもそも学校というのは、生徒のためにあり、生徒のものであると私は思っています。私たちのものである学校をより良くしていくのは、他でもない私たちです。だからもっと主体的、積極的に生徒会の一員として活動して欲しいと思います。難しいと思うかもしれませんが、まずは小さいこと、例えば学校での日常生活の中で「ここがこうなったらいいのになあー」と思ったことをそれに関係する自分のクラスの委員さんに直接伝えたり、意見箱(設置予定です)を通して本部に伝える。委員さんはそれを委員長に伝え、次回の委員会で取り上げてもらうなどの行動に移すことで学校が「より良く」なります。現に今、ペットボトルが使えるのは、意見箱や生徒総会での意見を昨年の本部が実現しようとして行動したからです。私たち本部は自分の「やってみよう」を行うだけでなく、皆さんの「こうしたい」を手助けする役割も担っています。生徒会のリーダーとして、最後までその役割を全うしたいと思います。休校になり私たちの任期も減ってしまいましたが、だからこそ、濃い活動をしたいと思ったり、皆さんもこの中学校生活を大事にし、生活を充実させるためにもぜひ、主体的、積極的に生徒会活動に参加してほしいと思います。

副会長 R.S(3-2)

生徒会本部役員の佐伯流星です。今年は新型コロナの影響でできることが限られています。本来であれば、生徒会朝会などを使ってレクを行ったり、規模が縮小した生徒総会についてもっと皆さんの意見を聞き、それが反映されるような会を開いたりしたいと思いますが、中々難しいのが現状です。そのため、昨年度以上に日常的なことに力を入れて取り組んでいます。新たに放送を活用してできるだけ通常通りの形で行おうと力を入れたり、新聞を発行して皆さんと関わる機会をより増やそうと努力しています。評議会では各委員会と連携して行うため活発な発言ができるような雰囲気づくりを目指しています。1、2年生の方々もできる範囲で参加し、そして更に発展させてほしいと思っています。意義のある委員会や評議会にしたいのでご協力をよろしくお願いします。

副会長 R.N(2-2)

私は先輩方への憧れと好奇心で生徒会本部役員になりました。初めはどんな活動をするのかもよくわからなかったこともあり、緊張と不安でいっぱいでした。しかし、生徒会本部として評議会や専門委員会に参加したりするにつれ、自分自身の役割にやりがいを感じるようになりました。そしてアンケートを取って「制服のリボンを変えたい」「なぜプレザーのボタンを留めなければいけないのか」など意見として出しました。実現することができなかったものもありますが、現在、高校生の先輩方の頃から言わ

れていた「ペットボトルを使用したい」という要望を実現することができた時は達成感や他の人の意見をもっと実現したいという思いになりました。だから、私の生徒会本部としての目標が学年問わず一人一人の意見を聞く、そして実現するという目標になりました。

書記 MN(3-2)

生徒会本部書記の仲地桃乃です。本部役員も部活動や外の活動にもきちんと参加できるように、放課後の時間を使つての活動はあまりありません。昨年度は何度もお伝えをした通り、皆様のご協力のおかげでペットボトルの持参が可能となりました。今年度は新型コロナウイルスが流行した為、ずい分と集まつての活動が減ってしまいましたが、放送や新聞等を使つてできる限りの活動をしています。今後、目安箱の方にも少しずつ力を入れていきたいと思っています。校内新聞（ニッパツパ新聞）では、載せて欲しい委員会内容等がありましたら、本部役員まで声をかけてください。私事ですが、人前で話すことが大の苦手でも本部役員という立場につかせていただいてから、人前で話す機会を沢山いただき、少しずつ慣れるようになってきました。色々なことを経験して、多くの良い影響を受けることができるようになりました。

書記 Y.K(2-1)

私は委員会での他学年との交流が少ないことがとても気になります。問題点を解決する時などでは、同学年の人たちと話し合いをしているだけで、多学年の人との会話が聞こえません。席が学年ごとであるのことも原因の1つですが、関わろうとしないことが理由だと思います。生徒会本部は人数が少ないので、1ヶ所で円状にして話し合いをすることなどから他学年の人とも話し合うことができます。でも1番の理由は各自、自分の意見を述べ、それに対して意見を言うことができているからではないと思います。1つの案をよくするため、深くまで掘り下げていきます。1つの案件に対して多くの意見が出て、より良くなるようにみんなで話し合うことで会話が広がります。委員会でも多くの意見を出し合うようにしてほしいと思います。委員会だけでなく、生徒会本部への意見があるとうれしいです。

会計 M.S(3-3)

私は生徒会本部役員になるまでは、生徒会本部の活動についてあまり知りませんでした。しかし、本部では生徒会朝会を企画し、運営したり、各委員会に行つて、思ったことをみんなで出し合い、どうしたら良いのかを話し合つたりと生徒が主体となって様々な活動をしています。私は新聞の企画をしましたが、記事のレイアウトや原稿の依頼の仕方、段取りの組み方など失敗してしまうことが多くありました。しかし、本部の仲間が助けてくれて、完成させることができ、たくさんのことを学ぶことができました。これからも本部の活動を皆さんに知ってもらい、生徒会の皆さん一人一人がこの学校をつくっていけるように頑張っていきたいと思っています。

会計 A.H(2-3)

今回、僕はこの学校だよりを通して伝えたいことがあります。それは今後の目標についてとお願いです。僕は全体へ向けた情報の共有が活発になるような学校にしたいと思っています。生徒会本部とは、全校生徒の意見をまとめ、最善の策を先生方と話し合い、実現すること。そんな役目を持っています。また、生徒会とは、全校生徒のことを指し、学校についての意見を出し合うことが大切です。本部7人で考えるよりも全校生徒で考える方が意見の幅が広がり、いろいろな意見を出すことができます。だからこそ、目安箱やアンケートを通して意見や要望を伝えてください。本部からも実現化したい意見を放送や生徒会新聞で伝えたいと思っています。